

キャノン株式会社 “CKI 活動 社内コンサルタント アクションラーニング研修” が 日本アクションラーニング協会エクセレントプログラムアワード 2015 を受賞

2015年8月21日、NPO 法人日本アクションラーニング協会(代表：清宮普美代)主催 年次カンファレンス 2015(於 立教大学)にて、キャノン株式会社による“CKI 活動 社内コンサルタント アクションラーニング研修”が、エクセレントプログラムアワードを受賞しました。

この受賞は、キャノン株式会社が実施している組織開発プログラムである CKI 活動において、社内コンサルタントのトレーニングプログラムにアクションラーニングを活用したことに対して贈られたものです。当日はキャノン株式会社 R&D 本部 CKI 推進センター 桑江曜子氏が取組を報告し、アクションラーニングが社内コンサルタントのトレーニングにおいてどのように効果を発揮したのかについてご発表になりました。また、このプログラムは国際アクションラーニング機構(WIAL)が毎年選出する WIAL Global Award 2015 にもノミネートされています。

*1 エクセレントプログラムアワードとは

アクションラーニング(マーコードモデル)で組織を活性化させた組織・個人を表彰し、優秀な事例を公表することによって、アクションラーニング(マーコードモデル)の普及と実践知の蓄積を促進する取り組みに対して日本アクションラーニング協会より表彰されるアワードです。審査基準として、プログラムの目的性・難易度・独自性と成果を考慮しアクションラーニング活動の効果を審査するものです。

過去の受賞企業・団体：NEC・NEC ラーニング(2005)、トヨタ自動車(2006)、富士ゼロックス・富士ゼロックス 総合教育研究所(2007)、アクサ生命(2008)、日本ベーリンガーインゲルハイム(2009)、キリンビール(2010)、立教大学経営学部(2011)、野村證券株式会社(2012年)

日本アクションラーニング協会 エクセレントプログラムアワード ウェブサイト：

<http://www.jial.or.jp/case/index.html>

懇親会にて



ご発表の様子

